

タイピックだより

10月号

2019.10.20 発行 Vol.82



ひと雨ごとに涼しく
秋めいてきます。彩り
鮮やかな山に変わるの
もこれからでしょう

「春の七草」は有名
ですが、秋にも「秋の七
草」と呼ばれる草花が
あります。秋の七草は
鑑賞して楽しむ秋の花
を選んだもので、万葉
集の山上憶良の二首が
元となっています。

（びをり） かき数ふれ
七種ななくさの
花「秋の野に咲いてい
る草花を指折り数える
と」種類ある
「萩はぎ」の花
尾花
葛くすの花
撫子
（なでしこ）の花
女郎
花（おみなえし）
また
藤袴（ふじばかま）
朝
貌あさがおの花

このあさがおの花
は、夏にラッパのよう
な花が咲くヒルガオ科
のアサガオではなく、
桔梗の花のことだと言
われています。

尾花というのは、ス
スキのことです。原つ
ばのような乾燥した場
所に一つの株から放射
状に生える草で、湿地
帯に群生している草
は、実はススキではな
く似ている別の草、萩
（おぎ）であることが多
いそうです。萩はスス
キのような株状ではな
く、それぞれが独立し
て生えていて、ススキ
よりも毛が長くて白く
柔らかいことが特徴で
す。漢字は萩に似て、
形はススキに似ている
萩。昔の人は明確に区
別をしていたようです。



私たちも一見同じよ
うに見えるものであつ
ても違いに気づける観
察力を持ちたいもので
すね。

熱中症対策の水分補給に！

環境にやさしく、おいしく安全な水を皆さま
のご家庭やオフィスにお届けします。
ウォーターネットのウォーターサーバーは、
いつでもお水もお湯もご利用いただけます。
ご用命は、担当営業にお問合せ下さい。

なくてはならない水だから
安心安全な水をいつもそばに



無料お試し実施中！

必要とされる人へ、必要とされる会社へ

Typic 株式会社 タイピック

〒698-0023 島根県益田市常盤町7番3号
Tel. (0856) 23-2800 代 Fax. (0856) 22-5592 番
<http://www.typic.jp>

社長の

つぶやき



5月上旬に田植をした稲を9月上旬に刈り取った。近年は、除草剤を撒かずに作っているので雑草が生え収穫量は減ったが、取りあえず収穫したので一安心した。

稲刈りを終わると秋だなと感じていたが、最近やたらと台風が発生し被害が多発している。千葉県でも知人の福祉法人(職員数300人程度)が電気・水道で困っていると聞いたが、遠方でどうにもならなかった。幸いにも聞いた当日、電気・水道は開通したとの知らせを受け安堵したのであるが、今度は台風17号が北進している。被害が発生しなければいいのだが。

台風の影響で今日は雨なので、本を読もうと『実践するドラッカー利益とは何か』を読んでいたら平成22年には約258万社のうち72.8%の企業が赤字であると記されていた。この話はよく聞いていたが、最近はどうなのかなと思いついて国税庁の「会社標本調査」を開いてみた。

平成21、22年は72.8%の企

業が赤字であるが、これをピークとして赤字企業は減少傾向になってきており平成29年には約269万社のうち利益計上法人が約100万社(37.4%)、欠損法人が約169万社で、欠損法人の割合は62.6%がとなって、前年度より0.9%減少している。

業種別の欠損法人の多いのは出版印刷業74.8%、繊維74.4%、飲食旅館業73.3%、食品製造業70.3%であり、逆に欠損法人が低いのは建設業57.2%、運輸通信交益事業57.9%、不動産業59.1%、鉄鋼金属工業59.6%となっていた。

驚いたのは企業数の伸びである。平成19年には約259万社であったが平成21年には約261万社なり、その後減少し平成24年には約253万社となったが、これ以降伸び続け平成29年には約270万社となっている。

さらに驚いたのは資本金が1千万以下の企業が増加したことである。平成23年に資本金一千万円以下の企業が約218万社であったが、平成29年には約232万社となり約14万社が増え、逆に減少したのが資本金一千万超の企業であ

る。平成23年には約39万社が約37万社となり約2万社減少しているのである。

近年、欠損法人が減少傾向になっているのは良いことである。統計上は平成29年には62.6%の欠損企業があるのだが、本当にこのような数の企業が欠損であろうかと疑問に思うのである。小規模企業では税制上の特徴を利用して損失計上をしているのにすぎないのではないだろうか。実際は62.6%の企業が赤字で37.4%の企業が赤字そんな気がしてならない。

利益は企業にとって存続するための条件である。何年も赤字が続けば企業は存続できなくなるのに、なぜこのような数字になるのか疑問である。今後、新規・廃業の企業数を調べてみよう。

わが社の ほっとニュース



季節の演出でお出迎え

タイピックの玄関を入れて左がゆっくりやさしいパソコン教室です。教室の入り口にさりげない演出をして、お客様をお出迎えしております。

教室の生徒さんが持って来てくださるお花と一緒に、季節の演出をしたレイアウトを



致知の感想

読書習慣が学力を決める

印刷事業部 河野 晶

今回読書習慣の大切さをすごく感じました。学力の差は、読書を全くしない子は平均点を超えるには毎日2時間の自宅学習が必要で、毎日1時間以上読書をする子は宿題点を超えると書いてあった。脳は文章を読むと活発に働き、社会人でも読書をする人は、クリエイティブティイが高まり、何かを生み出す創造性が出る事で仕事の成果も残せるようです。思考のレベルは言語のレベルで決まり、語彙の少ない子は思考の幅が狭いし、考えが幼いようだ。本は映像を見るテレビや映画とは違い、自分の中で想像したりする能力が必要となり、読み聞かせを受けた子供は、言葉を扱う能力が伸びているようで、自分の子供が小さい頃、近所のおじさんの薦めでよく読み聞かせをしていたお陰なのか、私と違って読書の習慣もついたらしく、コミュニケーション能力も高い方だと思います。文中に認知症の高齢者が読書する事で薬を飲むより奇跡的効果があるといったので、もしその時は忘れず読書と思いました。

読書習慣が学力を決める

印刷事業部 大森 温子

この対談には、読書の効果が具体的に書かれてあり、改めて本を読むことの大切さに気付かされました。たくさん効果の中で私が一番おどろいたのは、本を読めば創造性が高まるという点です。実験を通して、新しいものを創造するクリエイティブな活動は、すべてその人の語彙がもとになっていることがわかったそうです。私も製版の仕事に携わり、少しずつですが、印刷物を創り出すことをしているので、読書をしつかりして、語彙力を高めることでよりよいものを創っていくのではないかと思いました。そして、本の中でも文語文のものが良いということも印象に残りました。私は本を読みますが、手軽に読める口語体の小説やエッセイばかりなので、難しいと遠ざけていた文語体の本に挑戦してみたいです。

今月号を読んで読書尚友という言葉の意味を知りました。小さいころからたくさん本を読んでおけばと後悔もありますが、今からでもできる限りの本を読み、よりよい人生を開くための尚友を見つけていきたいと思っています。



誕生日の決意

印刷事業部 大庭 幸絵

ここ数年一言日記をつけています。

天候の事、季節的な事、その日の印象に残った出来事、感じた想い、何を食べたとか、何でも有りです。

たまに昨年、一昨年前の日記を開いて見ると季節の移り変わりを感ぜ、自分自身が過ごした時間、人との関わりであったりと読み返すとなかなか面白い！

「何月何日、〇〇さんから今季の初物を頂いてこうい調理をした」「頂いた方に調理方法を聞いて作ったらとても美味しく出来た」「作った報告とお礼の電話をしたらとても喜んでくれた」「読み返していくうちに

ゆづりやさいパソコン教室

松田美穂子

平成28年に入社以来、多くの方との出会いがありました。

皆さんそれぞれに、違った環境の中で生活しておられますが、一つ同じなのは、いくつになっても、前向きに、学ぶ気持ちをお持ちのところですよ。

「もっ年だから」とか「それをやっ何になる?」とかの否定的な言葉は出てきません。

「むずかしそう」「できるかなあ」と言われながらも黙々と真剣に取り組んでおられる姿は、気持ちいいです。パソコンの合間の休憩時間も楽しみのひとつです。皆さんの豊富な

に相手のお顔も思い浮かび顔もほころんでくる。

やはり一番良いのは献立である。昨年の今頃は何を食べたのだからかと参考にもなり、じゃあ今日はこれにするか...とこんな具合です。

あまり大袈裟な日記ではないので全く苦にならない今日の足跡です。

これからも日々のうつろいを感じながら楽しく続けていくつもりです。



人生経験の中で培われた知識と体験を教えてください。お話を伺いながら、今までの自分の反省と、これからどう考えて生きていくのかの目標にさせてもらっています。いい出会いに感謝しながら、これからも精一杯前向きに頑張っていこうと思います。



